

地域の往診・訪問診療医を知ろう！

田中クリニック

報告

シリーズ第6回
飾磨地域

開催日時:2024年9月26日(木)15:00~16:00 会場:姫路市総合福祉会館

この研修会は、主に介護職と医師の顔の見える関係づくりができ、介護職が気兼ねなく、必要な時に、適切な連携(情報共有や相談)ができるようになることを目的として、シリーズで開催しています。今回は、たなか あきら 姫路市飾磨区(飾磨地域)の**田中クリニック 院長 田中明 医師**に、自院の特徴や多職種との連携についてお話しいただき、多職種 29 名の方々にご参加いただきました。



・自己紹介、医院の紹介

呼吸器内科専門ですが内科全般に精通しており、内科以外でも相談可

・往診、訪問診療や在宅での看取りについて

当院は在宅療養支援診療所です。別診療所の医師4名、病院と連携して 24 時間対応を行っています
どんなに悪い状態でも受け入れています

・多職種との連携について

顔の見える連携を大事にしていますので会いに来てください(外来受診・往診/訪問診療時の同席、退院カンファレンス等)。
これからは、もっと ACP に関する情報を多職種間で共有したいと考えています。※具体的な連携方法については、センターHPの「医療介護関係者向け往診・訪問診療医情報」をご参照ください

・在宅療養で大切なこと / 多職種へのメッセージ

“住み慣れた家で自分らしく療養できるよう、人間としての尊厳を保ちながら、患者さんやご家族の意志や希望を尊重し生活そのものを支えること”を大切にしています。そのためには、

①密な多職種連携

②患者・家族の気持ちに寄り添う
ことが重要だと考えています。

住み慣れた家で最期まで自分らしく過ごせるよう多職種連携で支えましょう



《アンケートより 一部抜粋》

- ・短期間でも、終末期を丁寧に寄り添ってくれる医師の姿に感動しました。そして、多職種でそれを行っていくことの大切さもよくわかりました。
- ・主治医との面談の敷居が少し低くなったように思います。
- ・介護者、本人の気持ちをしっかり聞き、寄り添う事の大切さについて、理解が深まりました。
- ・ケアマネジャーが往診に立ち会うことに前向きに考えておられることがわかり非常に参考になりました。
- ・先生のように在宅診療を志し、在宅に目を向け、ケアマネを必要として下さる先生が増えてほしいです。各専門職の役割などを理解し合える関係が大切だと感じました。
- ・ACP について、多職種で共有することを今後活かしていきたいです。

次回の「地域の往診・訪問診療医を知ろう！」は、赤木皮膚科クリニック 赤木竜也先生です。2024/10/31(木)開催予定！